

日本民主法律家協会・憲法委員会学習例会

どうする消費税？

財源問題と税制のあり方

講師 **浦野広明先生** (本協会理事・立正大学客員教授・税理士)
日時 **6月26日(水)** 17時30分～19時30分
場所 日本民主法律家協会本部事務局3階会議室

安部政権の悪政に審判を下すべき参議院選挙が間近に控える中、10月に予定されている消費税増税問題はますます重要な争点となっています。この問題について認識を深め、真に国民の権利を守る民主的な税財政のあり方について検討する学習会を開催します。皆さんふるってご参加ください。



◀浦野 広明(うらの ひろあき) 先生
立正大学法学部客員教授(税法学)。税理士(合格科目は簿記論、財務諸表論、法人税法、所得税法、相続税法)。不公平な税制をただす会共同代表。主な著作は『現代家庭の法律読本』(岩波書店・共著)

浦野先生は、今年2月26日の衆院予算委員会公聴会で、日本国憲法の理念と国民生活の安定という立場から、消費税など今年度の予算の問題点を厳しく指摘する意見を陳述されています。



日本民主法律家協会・憲法委員会

160-0022 東京都新宿区新宿1-14-4 AMビル2/3階
電話 03-5367-5430 FAX 03-5367-5430
E-MAIL info@jdla.jp